

会 議 録

会 議 名	佐野市立城東中学校区小中一貫校 開校準備委員会 総務部会 令和7年度 第1回会議
日 時	令和7年7月3日（木） 午後6時30分～午後7時40分
場 所	佐野市立城東中学校 南校舎1階 会議室
出 席 者	<p>【参加者】（17名）</p> <p>別紙「委員名簿」のとおり （欠席者なし）</p> <p>【事務局】（計7名）</p> <p>佐野市教育委員会 教育部長 学校適正配置課 課長、係員5名</p>
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第、委員名簿 ・ 資料1 佐野市の義務教育学校の整備について ・ 資料2－1 佐野市立城東中学校区小中一貫校の整備について ・ 資料2－2 佐野市立城東中学校区小中一貫校の協議体制について ・ 資料3 佐野市立城東中学校区小中一貫校開校準備委員会 専門部会設置方針 ・ 資料4 総務部会の進め方について(案) ・ 資料5 (参考)校名に関する情報 ・ 資料6 佐野市立城東中学校区小中一貫校開校準備委員会 総務部会 内規(案) ・ 追加資料 校名(案)アンケート用紙(案)

委員会内容	<p>委員会の内容については以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 司会（学校適正配置課長） 2 出席者紹介（自己紹介） 3 概要説明 <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から資料1から3を基に説明。質疑なし。 4 部会長及び副部会長の選任について <p>部会長・副部会長を選任。</p> <p>部会長：城東中学校 校長</p> <p>副部会長：佐野小学校 校長</p> 5 議 題 <ol style="list-style-type: none"> （1）総務部会の進め方について <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から資料4を基に説明。質疑なし。 ・案のとおり決定された。 ・事務局より以下のとおり補足。 <p>（事務局）校名を最初に決める必要性としては、校章・校歌を決める際に校名が決定していないと作業が進まない点以外に、国の補助金の交付を申請する行政側の都合がある。学校を建設するには、非常に大きなお金がかかるため、国に補助金を申請するが、その際に校名が決定していることが必要とされている。市議会の議決をもって校名を決めることで、民主的な手続きを経て、市民の合意形成を得ている証を国に示す。そのため、最初に校名を決める必要がある。</p> （2）校名について <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から資料5を基に説明。 ・部会員からの質疑は以下のとおり。 <p>（部会員）なぜ佐野市では、全て「義務教育学校」とつけているのか。他自治体のように「〇〇学校」「〇〇学園」としなかった理由は。今までの学校と異なり、特別感を感じた。授業内容も特別か。</p>
-------	--

(事務局) あそ野学園では、当時の話し合いで、卒業後、履歴書等に記載した場合、学校種が明白になるよう「〇〇学園」などではなく、「義務教育学校」とつけることに決定した経緯がある。

(事務局) 「義務教育学校」とは、学校教育法で位置づけられた学校種のひとつであり、「小中一貫校」とは異なり、正式な名称である。佐野市の最初の義務教育学校である「佐野市立あそ野学園義務教育学校」に「義務教育学校」がつくことが決定したことから、あとに続く義務教育学校についても「義務教育学校」をつけ、佐野市が設立する学校として統一感を持たせることとしている。

授業内容は、現状の小学校課程を前期課程で行い、中学校課程を後期課程で行うため、変わらない。ただ、中1ギャップ解消の観点から、学校ごとに学年の区切りを4-3-2などと変えることが可能で、カリキュラムに学校独自の形を出せる。義務教育9年間を通した弾力的な教育を行える。そういった意味での特別感はあると考える。

(部会員) 「義務教育学校」をつけることが必須ということによろしいか。

(事務局) 佐野市では必須となる。

(部会員) 校名を募集した場合、多数決で決めるのか、総務部会の部会長が案の中からふさわしいものを少数であっても選定するのか。

(事務局) 総務部会で決めていただく。多数決でも、少数であってもそれがふさわしいということで決めてもよい。佐野市立かえで義務教育学校を決めた際は、多数決ではなく、少しずつ案を絞っていき、その中から話し合いで決めた。

- ・ アンケート実施で承認された。事務局より校名(案)アンケート用紙(案)を配布し、アンケート方法について説明。

- ・ 校名(案)アンケート用紙(案)のとおり決定された。

- ・ 部会員からの質疑は以下のとおり。

(部会員) 応募期限が9月1日は、短すぎる。また、8月号の広報紙にしか載らないとすると、たくさんある記事の1コマでは、一般の方に認知されないのではないか。この応募用紙をA4に簡略化し、城東中学校区の各戸に配った方がよいのではないか。

	<p>(事務局) 広報8月号において、対象地域にA3用紙の全戸配布を考えている。</p> <p>(部会員) 町会が全部配るのか。また、広報さのと一緒に配るとなると町会に入っていない人には行き渡らないため、全戸配布にはならないことは前提として理解しておいてほしい。</p> <p>(部会員) 広報さのとは別のタイミングで配るのは、件数が多い町会もあるため、難しい。広報さのと一緒に配るようにしていただけると助かる。</p> <p>(事務局) 広報紙の配布ルールに則って、広報さのと一緒に配布する。</p> <p>(部会員) 応募用紙の回収はどうするのか。集計も必要か。</p> <p>(事務局) 集計は必要ない。回収にご協力いただきたい。学校であれば、使送等を使用し、お送りいただきたい。</p> <p>(部会員) 9月1日ㄨ切だと当日に持ってこれない人もいないのか。期間を過ぎてしまっても受け取ってもらえるのか。</p> <p>(事務局) 1つでも多くの意見をいただきたいと考えているため、期限を過ぎてしまっても受け付ける。</p> <p>(3) 今後の部会員の選出について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から資料6を基に説明。質疑なし。 ・内規について、事務局提案のとおり承認された。 <p>6 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より連絡。 <p>(事務局) アンケート調査については、ただいまの決定のとおり実施する。その後、集計・整理を経て、9月～10月頃に次回の総務部会を開催したいと考えている。また、内規については空欄を埋めたものを後日、会議録と一緒に送りする。</p> <p>7 閉 会</p>
--	---